

研究の全体構造

【学校教育目標】

強いからだの子ども（体）
よく考える子ども（知）
仲よくする子ども（情）
進んで仕事をする子ども（意）

【本年度の重点目標】

自ら考え、高め合う子どもの育成
～仲間と共に学ぶ楽しさを実感させる～

【研究主題】

自分の思いや考えをもって、学びを深める子ども
～互いに学び合う言語活動の充実をめざして～（2年次）

【目指す子ども像】

主体的に課題解決に向かう子ども

【研究内容1】

- （1）見通しが分かる単元構成の工夫
- （2）児童の思考の流れを意識した「考える場」の工夫

互いに考えを伝え合い、深め合う子ども

【研究内容2】

- （1）目的意識、相手意識をもたせる活動の工夫
- （2）学習形態の工夫

※2年次

- （3）振り返り場面の工夫

- （3）相互評価の工夫

個人

仲間とのかかわり

【研究を支える土台づくり】

- （1）日章っ子「話し方・聞き方」を意識した学習
- （2）読書時間の設定（わくわくの時間、隙間時間など）
- （3）各教科・総合的な学習の時間との関連を図った言語活動
- （4）目的や相手を意識した日常的指導
（日常生活における質問・応答、言葉遣い、委員会活動、児童総会など）
- （5）学びが分かるノート指導や掲示
（学びの確認、自己変容の自覚）
- （6）教師間の連携

【学習環境】

- （1）学級文庫の充実
- （2）辞書の活用
- （3）ICTの活用
- （4）よさや違いを認め合える学級づくり